

令和3年7月16日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和3年7月16日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに220件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,286件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

| | 新規登録 | 累計 |
|-----------|------|--------|
| 登録件数 | 220 | 13,286 |
| 関係都道府県数 | 35 | 47 |
| 関係市町村(区)数 | 65 | 989 |

○時代別 (件)

| | 江戸以前 | 明治 | 大正 | 昭和 | 計 |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 新規登録 | 38 | 67 | 50 | 65 | 220 |
| 累計 | 2,366 | 4,209 | 2,700 | 4,011 | 13,286 |

○種別 (件)

| | 産業 | | | 交通 | 官公庁舎 | 学校 | 生活関連 | 文化福祉 | 住宅 | 宗教 | 治山治水 | 他 | 計 |
|----|-----|-------|-------|-----|------|-----|------|------|-------|-------|------|----|--------|
| | 1次 | 2次 | 3次 | | | | | | | | | | |
| 新規 | 0 | 34 | 22 | 7 | 2 | 13 | 1 | 21 | 70 | 37 | 13 | 0 | 220 |
| 累計 | 118 | 1,411 | 1,665 | 518 | 235 | 406 | 337 | 441 | 5,920 | 1,927 | 223 | 85 | 13,286 |

(件)

| | 建築物 | 土木構造物 | その他の工作物 | 計 |
|------|--------|-------|---------|--------|
| 新規登録 | 171 | 14 | 35 | 220 |
| 累計 | 10,528 | 663 | 2,095 | 13,286 |

今回の答申における主なもの

① 国後島とのつながりを示す歴史的遺構

001 根室国後間海底電信線陸揚施設 北海道根室市 昭和10年頃

根室と国後島を繋ぐ通信用海底ケーブルの陸揚施設。電信線は明治時代に逋信省が根室から国後島を経由して択捉島まで設営し、この建物は電話線開通頃の建設と考えられる。東西約3・8メートル、南北約5・9メートル、鉄筋コンクリート造平屋建で、南面中央を入口として半円柱を立てる。入口前方に門柱を付設。内部は2室で奥室に陸揚の床開口を残す。



② 北前船寄港地の繁栄を伝える近世町家

083 旧古川屋惣兵衛住宅 福井県小浜市 慶應元年

旧小浜城下で廻船業などを営んだ商家。通りに面した平入の町家で、木造二階建、切妻造棧瓦葺。正面一階に出格子を見せ、二階は真壁に格子窓を嵌め、両端に袖壁を備える。小浜に希少な江戸期に遡る町家の遺構で、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」を補強する。文化財保存活用地域計画による登録提案第1号。



③ 建築家吉田五十八の意匠が内外に遺憾なく発揮された邸宅

117 旧岸邸 静岡県御殿場市 昭和44年

東名高速道路御殿場インター近くに構える岸信介の元邸宅。木造平屋建と鉄筋コンクリート造二階建からなる。居間・和室等よりなる庭に面した接客空間を中心に、サービス空間、二階の居住空間を配し、全体を「日本のコテージ風」の外観でまとめ洗練された戦後の和風建築。吉田五十八晩年の代表作の一つ。



提供：御殿場市教育委員会

④ クジラ型の噴水が愛らしい公園施設

118 ^{どうとくこうえん} 道德公園 ^{いけふんすい} クジラ池噴水 愛知県名古屋市 昭和2年

あゆち^{がた}潟と呼ばれた伊勢湾の一部、新田開発を経て昭和初期の土地区画整理で開かれた道德地区にある公園施設。造形家^{ごとうくわごろう}後藤鍬五郎による鉄筋コンクリート造クジラ形噴水の設備を中心にし、石と^{ぎぼく}擬木で池の護岸を巡らし、石製^{らんかん}欄干付コンクリート橋を架ける。戦前から永く地域で愛される。



⑤ いちはやくセセッションをとりいれたモダンな戦前最大規模の庁舎

145 ^{おおさかふちょうしやほんかん} 大阪府庁舎本館 大阪府大阪市 大正15年

大阪城公園の西に位置する、鉄筋コンクリート造、地上6階地下1階建の庁舎。設計は後に名古屋市役所などを手掛けた^{ひらばやしきん}平林金吾とその同僚であった^{おかもとかある}岡本馨。背後に議会棟を張出すコの字形平面で、外観はセセッションを取入れ、玄関を縁取る装飾に意匠を凝らす。内部玄関ホールは大理石貼の3層吹抜に柱が林立し、見応えがある。^{せいちよう}正庁や議場も装飾豊潤。



提供：大阪府

⑥ ^{ひゅうがおうかん} 日向往還の宿場浜町における最大規模の町家

218 ^{つうじゆんしゆぞうてんぼおよ} 通潤酒造店舗及び^{おもや}主屋 熊本県山都町 明治前期

日向往還の^{はままち}浜町に長大な店舗を構える酒造店の町家。店舗背後に棟を直交させて主屋を接続し、正面に妻を見せる。店舗正面は下屋中央を切上げ戸口とし、2階は^{むしごまど}虫籠窓を開ける。内部は中央を店舗と主屋を貫く通り土間とし、東は店舗と倉庫、西は事務所とその奥に居室を設け、その広さは浜町最大規模の町家。熊本地震で被害を受けたがこれを乗り越えた。



<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）
課長 山下 信一郎
課長補佐 田井 祐子
登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平（内線 2797）
審議会係 川口 雅之、福島 絵里奈（内線 3160）